

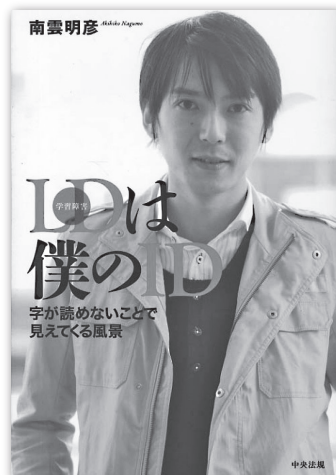
＝そのほかの新刊＝

●赤ヘル 1975 (重松清) ●昭和の犬 (姫野カオルコ) ●恋歌 (朝井まかて) ●村上海賊の娘 上・下 (和田竜) ●ノックス・マシン (法月綸太郎) ●お伊勢ものがたり (梶よう子) ●独走 (堂場瞬一) ●雪月花黙示録 (恩田陸) ●私のなかの彼女 (角田光代) ●新釈につぼん昔話 (乃南アサ) ●愛の夢とか (川上未映子) ●ネルソン・マンデラ私自身との対話 (ネルソン・マンデラ) ●名軍師ありて、名将あり (小和田哲男) ●わたしが正義について語るなら (やなせたかし) ●長生きしたけりゃふくらはぎをもみなさい (榎孝子) ●日本人へ危機からの脱出篇 (塩野七生)

【児童】

●くまのがっこうジャッキーのしんゆう (あだちなみ) ●どこにいたかな? (松橋利光) ●ねこのジンジャー (シャーロット・ヴォーク) ●ガブリちゃん (中川李枝子) ●知ってびっくり! 世界のなぞ・ふしぎ物語 (並木伸一郎)

4月1日(火)から貸出期間が
14日間になります。



＝新刊図書案内＝ 今月の一冊

『LDは僕のID・
字が読めないことで
見えてくる風景』

【南雲明彦著】

招き猫の会様よりご
寄贈いただきました。
著者は、21歳まで自
分が識字障害であるこ
とを知らず、文字が読
めない、記憶できない
など生きづらい毎日を
過ごしていました。不
登校・うつ病・強迫性
障害に苦しみ、仕事が
続かない状態でした。
そんな彼が、自分の
障害のことが分かり
徐々に人生の突破口を
見つけ出したのです。
障害についてまったく
知らない人にもおす
めの本です。

図書館 ☎42・2141

【休館日】月曜日・祝日 (月曜日が祝日の場合は、翌日休館)



この招き猫から
素敵な活動が始まりました

居酒屋の
貯金箱から

「招き猫の会」
文庫

とになりました。市川さんが
須崎市夏季療育キャンプに協
力していたことなどもあつて、
障害のある人や家族が励まされ
るような図書を寄贈するこ
とが決まり、2009年に活
動が始まりました。

今年も「招き猫の会」(代表
市川忠さん)から図書館に、
障害者の手記や体験談などの
図書68冊を寄贈していただき
ました。

招き猫の会は、居酒屋で集
まったお釣りで購入した本を
図書館などに寄贈する活動を行
っています。

1995年、原町にある居
酒屋の5周年を記念し

て、常連客の市川
さんが3匹の招き
猫の貯金箱をプレゼン

トしました。カウンターに置
かれた招き猫には、客が釣り
を入れてくれるようになり、

その後、常連客で集

まったお金を有意義

に使うというこ



代表市川忠さんから
図書館に寄贈

☎42・8591

生涯学習課 生涯学習係

「障害のある方やご家族にと
つて、本が心のよりどころ
や支えになり、少しでも寄与
できればうれしい。毎年一冊
でも多くの本を増やしてい
きたい」と市川さん。
図書館や各公民館に設置し
ている「招き猫の会」文庫を、
ぜひご利用ください。